

2018年度中間決算説明資料

 第四北越フィナンシャルグループ



第四銀行

【 目 次 】

I 2018年度中間決算ダイジェスト	—	1
II 2018年度中間決算の概況	—	
1. 損益状況	単・連	7
2. 業務純益	単	8
3. 預金等、貸出金残高	単	9
4. 投資信託・公共債等預かり資産残高	単	9
5. 利鞘	単	9
(1) 全店分	単	9
(2) 国内業務部門分	単	10
6. 有価証券	単	10
(1) 損益	単	10
(2) 有価証券の評価損益	単・連	10
7. 自己資本比率	単・連	12
8. ROE	単	12
III 貸出金等の状況	—	
1. 金融再生法開示債権	単	13
2. リスク管理債権	単・連	14
3. 貸倒引当金の状況	単・連	15
(1) 単体	単	15
(2) 連結	連	15
4. 自己査定状況	単	16
5. 自己査定・保全の状況と開示債権	単	16
6. 業種別貸出状況等	単	17
(1) 業種別貸出金	単	17
(2) 業種別リスク管理債権	単	17
(3) 個人ローン残高	単	17
(4) 中小企業等貸出	単	17
IV 2018年度業績予想	—	
1. 単体	単	18
2. 連結	連	18
V 第四北越フィナンシャルグループ 2行合算・連結業績予想		
1. 損益状況【2行単体単純合算】		19
2. 預金等、貸出金残高【2行単体単純合算】		20
3. 投資信託・公共債等預かり資産残高【2行単体単純合算】		20
4. 有価証券の評価損益【2行単体単純合算】		21
5. 連結業績予想(第四北越フィナンシャルグループ)		21

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 利回り、比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
3. 「II 2018年度中間決算の概況」以下の2017年9月期比、2018年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I 2018年度中間決算ダイジェスト

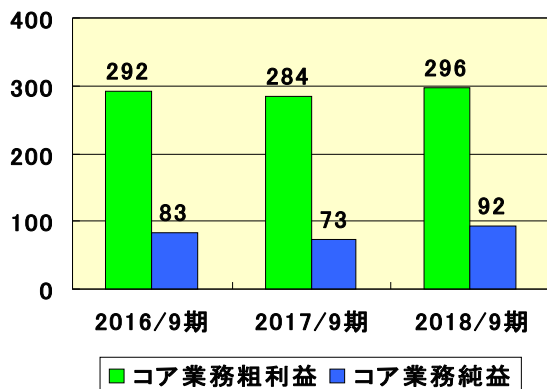
1. 損益の状況

- コア業務粗利益…対前年同期比11億円増益の296億円となりました。
資金利益が減少したものの、役務取引等利益及び国債等債券損益を除くその他業務利益がそれぞれ増加いたしました。
- コア業務純益…対前年同期比19億円増益の92億円となりました。
- 実質業務純益…国債等債券損益が減少したものの、コア業務純益が増益となったことから、対前年同期比12億円増益の78億円となりました。
- 経常利益…株式等関係損益が9億円減少したことに加え、ネット信用コストが12億円増加したことから対前年同期比11億円減益の93億円となりました。
- 中間純利益…対前年同期比7億円減益の67億円となりました。

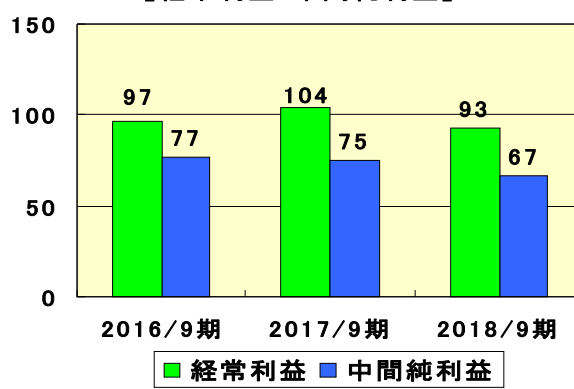
(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
業務粗利益	282	277	5
(うちコア業務粗利益)	(296)	(284)	(11)
資金利益	226	228	△ 2
役務取引等利益	57	48	9
その他業務利益	△ 1	0	△ 1
(除く国債等債券損益)	(12)	(7)	(4)
経費	204	211	△ 7
人件費	112	115	△ 2
物件費	79	83	△ 3
実質業務純益	78	65	12
コア業務純益	92	73	19
一般貸倒引当金繰入額	0	—	0
業務純益	78	65	12
臨時損益	14	39	△ 24
うち不良債権処理額(△)	5	5	△ 0
うち貸倒引当金戻入益	—	8	△ 8
うち償却債権取立益	1	6	△ 4
うち株式等関係損益	15	24	△ 9
経常利益	93	104	△ 11
特別損益	△ 3	△ 0	△ 2
中間純利益	67	75	△ 7

【コア業務粗利益・コア業務純益】



【経常利益・中間純利益】



(1) 業務粗利益、コア業務粗利益

- 業務粗利益…対前年同期比5億円増益の282億円
資金利益が2億円、その他業務利益が1億円それぞれ減少したものの、役務取引等利益が9億円増加したことによるものです。
- コア業務粗利益…対前年同期比11億円増益の296億円
- ・資金利益…対前年同期比2億円減益の226億円
貸出金利息が4億円増加したものの、有価証券利息配当金が5億円減少したことに加え、外貨調達コストの上昇等により資金調達費用が1億円増加したことを主因に2億円の減益となりました。
 - ・役務取引等利益…対前年同期比9億円増益の57億円
シンジケートローン等の各種金融ソリューション受入手数料や保険販売手数料などが増加したことが要因です。
 - ・その他業務利益(除く国債等債券損益)…対前年同期比4億円増益の12億円
お客様の為替リスクや金利リスクのヘッジを目的としたデリバティブ収益の増加が要因です。
 - ・国債等債券損益…対前年同期比6億円減益の△13億円

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
業務粗利益	282	277	5
(うちコア業務粗利益)	(296)	(284)	(11)
資金利益	226	228	△ 2
(うち貸出金利息)	(147)	(142)	(4)
(うち有価証券利息配当金)	(102)	(108)	(△ 5)
(うち資金調達費用)	(△ 26)	(△ 24)	(△ 1)
役務取引等利益	57	48	9
その他業務利益	△ 1	0	△ 1
(除く国債等債券損益)	(12)	(7)	(4)
(うち国債等債券損益)	(△ 13)	(△ 7)	(△ 6)

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

(2) 経費

- 経費…対前年同期比7億円減少の204億円
- ・人件費…対前年同期比2億円減少の112億円
業務効率化を中心とした働き方改革による時間外勤務手当の減少が主因です。
 - ・物件費…対前年同期比3億円減少の79億円
減価償却方法の変更(全て定額法に統一)や預金保険料率引下げが主因です。
 - ・税金…対前年同期比1億円減少の11億円

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
経費	204	211	△ 7
人件費	112	115	△ 2
物件費	79	83	△ 3
税金	11	12	△ 1

(3) 実質業務純益、コア業務純益

- 実質業務純益…対前年同期比12億円増益の78億円
業務粗利益が5億円の増益となり、経費が7億円減少したことから、対前年同期比12億円の増益となりました。
- コア業務純益…対前年同期比19億円増益の92億円

※実質業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時費用分)

※コア業務純益＝業務粗利益(除く国債等債券損益)－経費(除く臨時費用分)

(4) 経常利益、中間純利益

- 経常利益…対前年同期比11億円減益の93億円
 ○中間純利益…対前年同期比7億円減益の67億円
 ・ネット信用コスト…対前年同期比12億円増加の3億円
 前年は8億円の戻入だった貸倒引当金が1億円の繰入となったことを主因に、ネット信用コストは12億円増加いたしました。
 ・株式等関係損益…対前年同期比9億円減少の15億円
 株式等売却益が8億円減少したことを主因に株式等関係損益全体では対前年同期比9億円減少いたしました。
 ・特別損益…対前年同期比2億円減益の△3億円
 ・法人税等税金関連費用は税引前中間純利益の減少等に伴い7億円減少いたしました。
 ・結果、中間純利益は対前年同期比7億円減益の67億円となりました。

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
経常利益	93	104	△ 11
特別損益	△ 3	△ 0	△ 2
うち固定資産処分損益	△ 0	△ 0	△ 0
うちシステム解約損失引当金繰入額(特別損失)	2	—	2
税引前中間純利益	89	104	△ 14
法人税等税金関連費用	22	29	△ 7
中間純利益	67	75	△ 7

<信用コストの内訳>

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
一般貸倒引当金繰入額①	0	—	0
不良債権処理額②	5	5	△ 0
貸出金償却	3	4	△ 1
個別貸倒引当金繰入額	1	—	1
延滞債権等売却損	—	—	—
その他	0	1	△ 0
貸倒償却引当費用①+②	5	5	△ 0
貸倒引当金戻入益③	—	8	△ 8
償却債権取立益④	1	6	△ 4
偶発損失引当金戻入益⑤	0	0	0
ネット信用コスト①+②-③-④-⑤	3	△ 8	12

<株式等関係損益>

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
株式等関係損益	15	24	△ 9
株式等売却益	16	25	△ 8
株式等売却損	1	0	0
株式等償却	—	0	△ 0

2. 預金等の状況

（1）預金

○預金等残高は対前年同期比855億円増加し4兆8,017億円となりました。
○県内預金等残高は対前年同期比982億円増加し、4兆6,905億円となりました。

（単位：億円）

	2018年9月末	2017年9月末	増減
預金残高 ①	45,980	45,504	475
譲渡性預金残高 ②	2,037	1,657	379
預金等残高（①+②）	48,017	47,162	855
うち県内預金等残高	46,905	45,923	982

（2）預かり資産

○預金等残高と預かり資産残高合計で対前年同期比1,043億円増加いたしました。
公共債は121億円減少いたしました。投資信託は126億円、保険は183億円、預金等残高は855億円それぞれ増加いたしました。

（単位：億円）

	2018年9月末	2017年9月末	増減
預かり資産残高 ③	5,696	5,508	188
投資信託	1,262	1,135	126
公共債	1,123	1,244	△ 121
保険	3,311	3,127	183
預金等残高 ④	48,017	47,162	855
合計残高（③+④）	53,714	52,670	1,043

3. 貸出金の状況

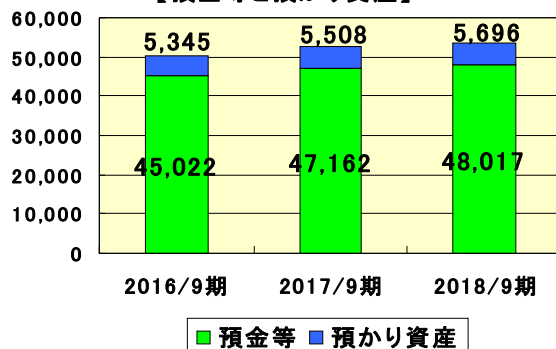
（1）貸出金

○貸出金残高は対前年同期比1,222億円増加し3兆3,051億円となりました。
○県内貸出金残高は対前年同期比836億円、県外貸出金残高は対前年同期比385億円それぞれ増加いたしました。
○個人住宅ローン残高は対前年同期比509億円増加し7,430億円となりました。

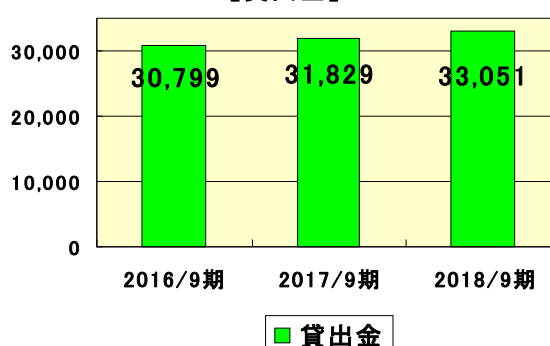
（単位：億円）

	2018年9月末	2017年9月末	増減
貸出金残高	33,051	31,829	1,222
うち県内貸出金残高	23,997	23,160	836
うち県外貸出金残高	9,054	8,668	385
うち個人住宅ローン残高	7,430	6,920	509

【預金等と預かり資産】



【貸出金】



4. 不良債権の状況

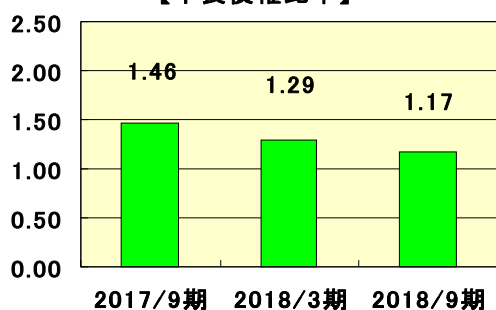
○不良債権額は対前年度末比33億円減少し399億円となり、債権額に占める割合、不良債権比率も0.12%低下の1.17%となりました。
 ○破産更生等債権は7億円、危険債権は16億円、要管理債権は9億円それぞれ減少いたしました。

<金融再生法開示債権>

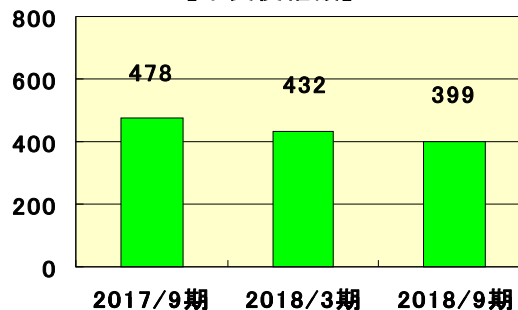
(単位:億円)

	2018年9月末	2018年3月末	増減
破産更生等債権	32	39	△ 7
危険債権	327	344	△ 16
要管理債権	38	48	△ 9
小計	399	432	△ 33
正常債権	33,540	32,921	619
債権額合計	33,940	33,354	585
不良債権比率	1.17%	1.29%	△ 0.12%

【不良債権比率】



【不良債権額】



5. 連結決算の状況

○連結決算は当行及び連結子会社7社で構成されております。
 ○単体決算同様に経常利益は12億円の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は8億円の減益となりました。7社全てにおいて中間純利益を計上すると共に純資産も十分な水準を確保しております。

<前年比較>

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
経常収益	486	494	△ 7
経常利益	99	111	△ 12
親会社株主に帰属する中間純利益	65	74	△ 8

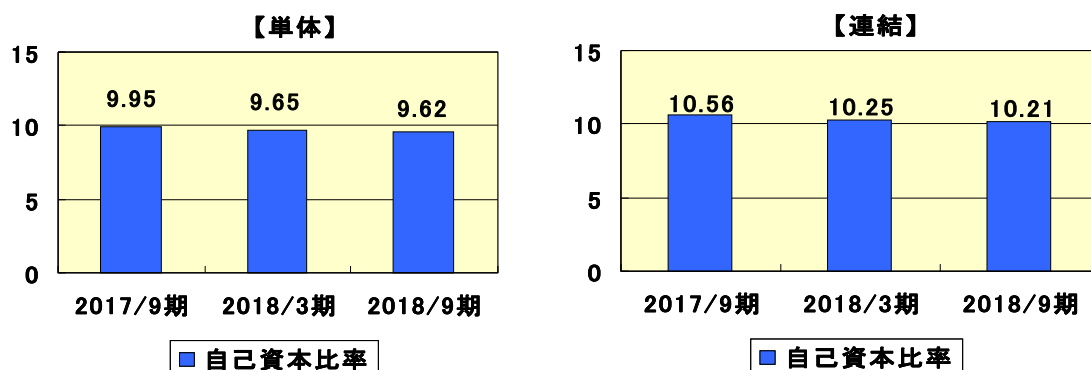
<連単倍率>

(単位:億円)

	連結	単体	連単倍率
経常収益	486	382	1.27倍
経常利益	99	93	1.06倍
親会社株主に帰属する中間純利益	65	67	0.96倍

6. 自己資本比率(速報値、国内基準)

○単体自己資本比率9.62%、連結自己資本比率10.21%
 早期是正措置の発動基準である4%を十分上回る水準を確保しております。
 ○リスクアセットの計算に際し、信用リスクは「標準的手法」を、オペレーショナル・リスクは「粗利益配分手法」を採用しております。



7. 2018年度業績予想

○単体
 経常利益は29億円減益の157億円、当期純利益は33億円減益の101億円を見込んでおります。
 ○連結
 経常利益は29億円減益の177億円、親会社株主に帰属する当期純利益は35億円減益の102億円を見込んでおります。

【単体】

(単位:億円)

	2018年度予想	2017年度実績	増減
コア業務純益	150	158	△ 8
経常利益	157	186	△ 29
当期純利益	101	134	△ 33

【連結】

(単位:億円)

	2018年度予想	2017年度実績	増減
経常利益	177	206	△ 29
親会社株主に帰属する当期純利益	102	137	△ 35

※上記の業績予想の数値は、2018年10月1日に公表した第四北越フィナンシャルグループの通期連結業績予想(下記<参考>)において考慮していたFG全体のマイナスシナジー(統合費用・減損)等のうち、当行分を反映させたものとなっております。
 なお、第四北越フィナンシャルグループの業績予想に変更はありません。

<参考> 第四北越フィナンシャルグループ通期連結業績予想
 (単位:億円)

	2018年度予想
経常利益	160
親会社株主に帰属する当期純利益	560

II 2018年度中間決算の概況

1. 損益状況

【単体】

（百万円）

		2018年9月期		2017年9月期
			2017年9月期比	
業務粗利益	1	28,254	522	27,732
（除く国債等債券損益(5勘定戻)	2	(29,654)	(1,176)	(28,478)
資金利益	3	(22,634)	(△ 253)	(22,887)
役務取引等利益	4	5,771	953	4,818
その他業務利益	5	△ 151	△ 177	26
（うち国債等債券損益）	6	(△ 1,399)	(△ 653)	(△ 746)
うち国内業務粗利益	7	28,312	940	27,372
（除く国債等債券損益(5勘定戻)	8	(27,979)	(1,021)	(26,958)
資金利益	9	22,037	89	21,948
役務取引等利益	10	5,720	937	4,783
その他業務利益	11	554	△ 87	641
（うち国債等債券損益）	12	(332)	(△ 82)	(414)
うち国際業務粗利益	13	△ 57	△ 416	359
（除く国債等債券損益(5勘定戻)	14	(1,674)	(154)	(1,520)
資金利益	15	596	△ 343	939
役務取引等利益	16	51	16	35
その他業務利益	17	△ 705	△ 1,319	614
（うち国債等債券損益）	18	(△ 1,732)	(△ 572)	(△ 1,160)
経費（除く臨時処理分）	19	20,426	△ 741	21,167
人件費	20	11,272	△ 269	11,541
物件費	21	7,994	△ 361	8,355
税金	22	1,159	△ 111	1,270
実質業務純益	23	7,827	1,262	6,565
（除く国債等債券損益(5勘定戻)	24	(9,227)	(1,916)	(7,311)
①一般貸倒引当金繰入額	25	14	14	—
業務純益	26	7,813	1,248	6,565
（除く国債等債券損益(5勘定戻)	27	(9,213)	(1,902)	(7,311)
臨時損益	28	1,489	△ 2,437	3,926
②不良債権処理額	29	561	△ 21	582
貸出金償却	30	359	△ 108	467
個別貸倒引当金繰入額	31	108	108	—
延滞債権等売却損	32	—	—	—
その他	33	92	△ 23	115
（貸倒償却引当費用①+②）	34	(575)	(△ 7)	(582)
貸倒引当金戻入益	35	—	△ 809	809
偶発損失引当金戻入益※	36	57	21	36
償却債権取立益	37	196	△ 439	635
株式等関係損益	38	1,538	△ 960	2,498
株式等売却益	39	1,668	△ 898	2,566
株式等売却損	40	130	98	32
株式等償却	41	—	△ 35	35
その他臨時損益	42	259	△ 270	529
経常利益	43	9,303	△ 1,188	10,491
特別損益	44	△ 311	△ 290	△ 21
うち固定資産処分損益	45	△ 27	△ 6	△ 21
うちシステム解約損失引当金繰入額(特別損失)	46	284	284	—
税引前中間純利益	47	8,991	△ 1,479	10,470
法人税、住民税及び事業税	48	2,037	△ 732	2,769
法人税等調整額	49	182	△ 4	186
中間純利益	50	6,772	△ 742	7,514
(参考)				
ネット信用コスト 25+29-35-36-37	51	321	1,219	△ 898

※与信関連の信用コスト相当分のみ計上

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(百万円)

		2018年9月期	2017年9月期比	2017年9月期
連結粗利益	1	31,009	322	30,687
資金利益	2	22,115	△ 443	22,558
役務取引等利益	3	7,921	975	6,946
その他業務利益	4	973	△ 209	1,182
営業経費	5	22,760	△ 1,126	23,886
貸倒償却引当費用	6	828	246	582
貸出金償却	7	359	△ 108	467
個別貸倒引当金繰入額	8	322	322	—
一般貸倒引当金繰入額	9	53	53	—
延滞債権等売却損	10	—	—	—
その他	11	92	△ 23	115
貸倒引当金戻入益	12	—	△ 448	448
償却債権取立益	13	201	△ 441	642
株式等関係損益	14	1,684	△ 927	2,611
その他	15	601	△ 617	1,218
経常利益	16	9,908	△ 1,231	11,139
特別損益	17	△ 311	△ 295	△ 16
税金等調整前中間純利益	18	9,596	△ 1,526	11,122
法人税、住民税及び事業税	19	2,607	△ 688	3,295
法人税等調整額	20	77	17	60
中間純利益	21	6,912	△ 855	7,767
非支配株主に帰属する中間純利益	22	368	14	354
親会社株主に帰属する中間純利益	23	6,543	△ 870	7,413

(注)連結粗利益=(資金運用収益-(資金調達費用-金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益-役務取引等費用)+(その他業務収益-その他業務費用)

・表示方法の変更に伴い、前年同期の数値を組み替えて表示しております。

(参考)

(百万円)

連結業務純益	24	8,303	821	7,482
--------	----	-------	-----	-------

(注)連結業務純益=単体業務純益+子会社業務純益+関連会社業務純益×持分-内部取引

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	7	—	7
持分法適用会社数	—	—	—

2. 業務純益【単体】

(百万円)

		2018年9月期	2017年9月期比	2017年9月期
(1) 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		7,827	1,262	6,565
職員一人当たり(千円)		3,384	592	2,792
(2) コア業務純益		9,227	1,916	7,311
職員一人当たり(千円)		3,989	880	3,109
(3) 業務純益		7,813	1,248	6,565
職員一人当たり(千円)		3,378	586	2,792

※計算の基礎となる職員数は期中平均人員(出向者を除く)で計算しております。

3. 預金等、貸出金残高【単体】

海外店は有しておりませんので、国内店のみの計数であります。

① 末残

(百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2017年9月末比		2018年3月末	2017年9月末
		増減額	増減率	増減額	増減率		
預金等(預金＋譲渡性預金)	4,801,769	△38,426	△ 0.79%	85,522	1.81%	4,840,195	4,716,247
新潟県内	4,690,596	△50,411	△ 1.06%	98,287	2.14%	4,741,007	4,592,309
新潟県外	111,173	11,986	12.08%	△12,764	△ 10.29%	99,187	123,937
貸出金	3,305,197	59,027	1.81%	122,251	3.84%	3,246,170	3,182,946
新潟県内	2,399,762	38,321	1.62%	83,692	3.61%	2,361,441	2,316,070
新潟県外	905,434	20,705	2.34%	38,558	4.44%	884,729	866,876

② 平残

(百万円)

	2018年9月期	2018年3月期比		2017年9月期比		2018年3月期	2017年9月期
		増減額	増減率	増減額	増減率		
預金等(預金＋譲渡性預金)	4,811,494	119,306	2.54%	109,698	2.33%	4,692,188	4,701,796
新潟県内	4,706,207	121,120	2.64%	113,581	2.47%	4,585,087	4,592,626
新潟県外	105,286	△1,814	△ 1.69%	△3,883	△ 3.55%	107,100	109,169
貸出金	3,230,255	76,288	2.41%	118,273	3.80%	3,153,967	3,111,982
新潟県内	2,342,922	51,958	2.26%	83,924	3.71%	2,290,964	2,258,998
新潟県外	887,332	24,330	2.81%	34,348	4.02%	863,002	852,984

4. 投資信託・公共債等預かり資産残高

(百万円)

	2018年9月末	2017年9月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
投資信託	126,215	4,552	12,631	121,663	113,584
公共債	112,346	△5,778	△12,133	118,124	124,479
保険	331,104	18,798	18,321	312,306	312,783

5. 利鞘【単体】

(1) 全店分

(%)

		2018年9月期	2017年9月期比		2017年9月期
			2017年9月期比		
資金運用利回	①	0.97	△ 0.01		0.98
	貸出金利回	②	0.91	0.00	0.91
	有価証券利回	③	1.21	△ 0.01	1.22
資金調達利回	④	0.09	0.00		0.09
	預金等利回	⑤	0.01	0.00	0.01
	外部負債利回	⑥	0.41	△ 0.03	0.44
預金等原価	⑦	0.86	△ 0.05		0.91
経費率	⑧	0.84	△ 0.05		0.89
資金調達原価	⑨	0.83	△ 0.04		0.87
利 鞘	預貸金レート差	②－⑤	0.90	0.00	0.90
	運用・調達レート差	①－④	0.88	△ 0.01	0.89
	預貸金利鞘	②－⑦	0.05	0.05	0.00
	総資金利鞘	①－⑨	0.14	0.03	0.11

(2) 国内業務部門分

(%)

		2018年9月期	2017年 9月期比	2017年9月期
資金運用利回	①	0.91	△ 0.01	0.92
	貸出金利回	0.88	△ 0.02	0.90
	有価証券利回	1.11	△ 0.02	1.13
資金調達利回	④	0.01	0.00	0.01
	預金等利回	0.01	0.00	0.01
	外部負債利回	0.00	0.00	0.00
預金等原価		0.84	△ 0.06	0.90
経費率		0.83	△ 0.05	0.88
資金調達原価		0.76	△ 0.07	0.83
利 鞘	預貸金レート差 ②－⑤	0.87	△ 0.02	0.89
	運用・調達レート差 ①－④	0.90	△ 0.01	0.91
	預貸金利鞘 ②－⑦	0.04	0.04	0.00
	総資金利鞘 ①－⑨	0.15	0.06	0.09

6. 有価証券【単体】

(1) 損益

(百万円)

		2018年9月期	2017年 9月期比	2017年9月期
国債等債券損益(5勘定戻)		△ 1,399	△ 653	△ 746
	売却益	432	△ 38	470
	償還益	36	25	11
	売却損	1,826	623	1,203
	償還損	17	△ 8	25
	償却	24	24	—
株式等損益(3勘定戻)		1,538	△ 960	2,498
	売却益	1,668	△ 898	2,566
	売却損	130	98	32
	償却	—	△ 35	35

(2)有価証券の評価損益

① 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

② 評価損益

(百万円)

【連結】		2018年9月末				2018年3月末		
		評価損益				評価損益		
			前期末比	評価益	評価損		評価益	評価損
	満期保有目的	1,905	△510	1,913	8	2,415	2,416	0
	その他有価証券	76,677	915	95,783	19,105	75,762	94,225	18,463
	株式	67,781	927	69,249	1,468	66,854	67,972	1,118
	債券	8,406	△4,304	9,645	1,238	12,710	13,112	402
	その他	489	4,291	16,887	16,398	△3,802	13,139	16,942
	うち外国債券	△5,188	389	573	5,762	△5,577	168	5,745
	合計	78,583	406	97,696	19,113	78,177	96,641	18,464
	株式	67,781	927	69,249	1,468	66,854	67,972	1,118
	債券	10,312	△4,813	11,558	1,246	15,125	15,529	403
	その他	489	4,291	16,887	16,398	△3,802	13,139	16,942

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. 2018年9月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、51,538百万円、2018年3月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、51,126百万円であります。

(百万円)

【単体】		2018年9月末				2018年3月末		
		評価損益				評価損益		
			前期末比	評価益	評価損		評価益	評価損
	満期保有目的	1,905	△510	1,913	8	2,415	2,416	0
	子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—
	その他有価証券	70,422	1,016	89,498	19,075	69,406	87,843	18,436
	株式	61,527	1,029	62,964	1,437	60,498	61,590	1,092
	債券	8,406	△4,304	9,645	1,238	12,710	13,112	402
	その他	489	4,291	16,887	16,398	△3,802	13,139	16,942
	うち外国債券	△5,188	389	573	5,762	△5,577	168	5,745
	合計	72,328	507	91,411	19,083	71,821	90,259	18,437
	株式	61,527	1,029	62,964	1,437	60,498	61,590	1,092
	債券	10,312	△4,813	11,558	1,246	15,125	15,529	403
	その他	489	4,291	16,887	16,398	△3,802	13,139	16,942

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. 2018年9月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、49,198百万円、2018年3月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、48,719百万円であります。

7. 自己資本比率

自己資本比率は、国内基準を適用しております。

【連結】

(百万円)

	2018年9月末(速報値)			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	10.21%	△ 0.04%	△ 0.35%	10.25%	10.56%
(2) 自己資本 ①－②	278,714	5,938	8,823	272,776	269,891
コア資本に係る基礎項目 ①	285,285	5,608	9,577	279,677	275,708
コア資本に係る調整項目 ②	6,571	△329	754	6,900	5,817
(3) リスクアセット(注)	2,727,732	67,059	173,234	2,660,673	2,554,498

(注) 信用リスク・アセットの額及びオペレーショナル・リスク相当額に係る額の合計であります。

なお、信用リスク・アセットは「標準的手法」を、オペレーショナル・リスクは「粗利益配分手法」を採用し算出しております。

【単体】

(百万円)

	2018年9月末(速報値)			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	9.62%	△ 0.03%	△ 0.33%	9.65%	9.95%
(2) 自己資本 ①－②	258,770	5,655	8,384	253,115	250,386
コア資本に係る基礎項目 ①	266,275	5,422	9,789	260,853	256,486
コア資本に係る調整項目 ②	7,504	△234	1,404	7,738	6,100
(3) リスクアセット(注)	2,689,063	67,580	174,345	2,621,483	2,514,718

(注) 信用リスク・アセットの額及びオペレーショナル・リスク相当額に係る額の合計であります。

なお、信用リスク・アセットは「標準的手法」を、オペレーショナル・リスクは「粗利益配分手法」を採用し算出しております。

8. ROE【単体】

(%)

	2018年9月期		2017年9月期
		2017年9月期比	
コア業務純益ベース	5.93	1.16	4.77
業務純益ベース	5.02	0.73	4.29
経常利益ベース	5.97	△ 0.88	6.85
中間純利益ベース	4.35	△ 0.56	4.91

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高(除く新株予約権)により算出しております。

Ⅲ 貸出金等の状況

- ・部分直接償却を実施しております。
- ・未収利息不計上基準
破綻先・実質破綻先・破綻懸念先の未収利息は、すべて収益不計上としております。

1. 金融再生法開示債権【単体】

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破産更生等債権	3,222	△718	△881	3,940	4,103
破綻先債権	1,174	125	48	1,049	1,126
実質破綻先債権	2,048	△843	△929	2,891	2,977
危険債権	32,792	△1,656	△5,550	34,448	38,342
要管理債権	3,894	△973	△1,518	4,867	5,412
小計	39,910	△3,346	△7,948	43,256	47,858
正常債権	3,354,093	61,941	129,910	3,292,152	3,224,183
債権額合計	3,394,003	58,594	121,962	3,335,409	3,272,041

○債権総額に占める割合

(%)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破産更生等債権	0.09	△ 0.02	△ 0.03	0.11	0.12
破綻先債権	0.03	0.00	0.00	0.03	0.03
実質破綻先債権	0.06	△ 0.02	△ 0.03	0.08	0.09
危険債権	0.96	△ 0.07	△ 0.21	1.03	1.17
要管理債権	0.11	△ 0.03	△ 0.05	0.14	0.16
小計	1.17	△ 0.12	△ 0.29	1.29	1.46
正常債権	98.82	0.12	0.29	98.70	98.53
債権額合計	100.00			100.00	100.00

○金融再生法開示債権の保全状況

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
保全額(A)	32,791	△2,955	△6,408	35,746	39,199
貸倒引当金	4,177	△196	△1,016	4,373	5,193
担保保証等	28,614	△2,759	△5,392	31,373	34,006
債権額合計(B)	39,910	△3,346	△7,948	43,256	47,858
保全率(A)÷(B)	82.16%	△ 0.47%	0.26%	82.63%	81.90%

2. リスク管理債権

(1) リスク管理債権の状況

①【単体】

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破綻先債権額	1,111	128	72	983	1,039
延滞債権額	34,745	△2,439	△6,363	37,184	41,108
3ヵ月以上延滞債権額	551	△391	306	942	245
貸出条件緩和債権額	3,343	△582	△1,824	3,925	5,167
計	39,752	△3,284	△7,808	43,036	47,560
(部分直接償却額)	(7,968)	(33)	(△2,307)	(7,935)	(10,275)
【参考】貸出金残高(未残)	3,305,197	59,027	122,251	3,246,170	3,182,946

○貸出金残高に占める割合

(%)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破綻先債権額	0.03	0.00	0.00	0.03	0.03
延滞債権額	1.05	△ 0.09	△ 0.24	1.14	1.29
3ヵ月以上延滞債権額	0.01	△ 0.01	0.01	0.02	0.00
貸出条件緩和債権額	0.10	△ 0.02	△ 0.06	0.12	0.16
計	1.20	△ 0.12	△ 0.29	1.32	1.49

②【連結】

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破綻先債権額	1,294	119	△7	1,175	1,301
延滞債権額	35,675	△2,515	△6,381	38,190	42,056
3ヵ月以上延滞債権額	551	△391	306	942	245
貸出条件緩和債権額	3,343	△582	△1,824	3,925	5,167
計	40,863	△3,370	△7,907	44,233	48,770
(部分直接償却額)	(7,968)	(33)	(△2,307)	(7,935)	(10,275)
【参考】貸出金残高(未残)	3,295,065	59,006	123,367	3,236,059	3,171,698

○貸出金残高に占める割合

(%)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破綻先債権額	0.03	0.00	△ 0.01	0.03	0.04
延滞債権額	1.08	△ 0.10	△ 0.24	1.18	1.32
3ヵ月以上延滞債権額	0.01	△ 0.01	0.01	0.02	0.00
貸出条件緩和債権額	0.10	△ 0.02	△ 0.06	0.12	0.16
計	1.24	△ 0.12	△ 0.29	1.36	1.53

3. 貸倒引当金の状況

(1) 単体

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
貸倒引当金	10,050	△ 95	△ 576	10,145	10,626
一般貸倒引当金	6,151	14	313	6,137	5,838
個別貸倒引当金	3,898	△ 109	△ 889	4,007	4,787

(注) 特定海外債権引当金は、該当ありません。

(2) 連結

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比	2017年 9月末比		
貸倒引当金	12,938	102	△ 536	12,836	13,474
一般貸倒引当金	6,580	54	342	6,526	6,238
個別貸倒引当金	6,358	49	△ 877	6,309	7,235

(注) 特定海外債権引当金は、該当ありません。

4. 自己査定状況【単体】

(百万円)

債務者区分		分類状況(部分直接償却実施後)				
		債権残高	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先		1,174	535 (403)	2,687	— (82)	— (50)
実質破綻先		2,048				
破綻懸念先		32,792	21,200 (17,434)	7,084	4,507 (8,272)	
要 注 意 先	要管理先	4,467	212	4,254		
	その他の要注意先	191,099	46,996	144,102		
正常先		3,162,421	3,162,421			
合 計		3,394,003	3,231,366	158,129	4,507	—

(注)()内は引当金の分類金額。

5. 自己査定・保全の状況と開示債権【単体】

(単位:億円)

		自己査定と保全の状況				金融再生法開示債権		リスク管理債権	
		残高	保全額	引当金	保全率	区分	残高	区分	残高
破綻先		11	30	1	100.0%	破産更生等 債権	32	破綻先債権	11
実質破綻先		20						延滞債権	347
破綻懸念先		327	245	37	86.2%	危険債権	327		
要 注 意 先	〔うち 要管理 債権〕	(38)	(10)	(2)	(32.9%)	要管理債権	38	3カ月以上 延滞債権	5
								貸出条件 緩和債権	33
	要管理先	44	11	3	32.7%	小 計	399	合 計	397
その他の 要注意先		1,910							
正常先		31,624				正常債権	33,540		
合 計		33,940				合 計	33,940		

6. 業種別貸出状況等【単体】

(1) 業種別貸出金

(百万円)

	2018年9月末	2018年 3月末比	2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	3,305,197	59,027	122,251	3,246,170	3,182,946
製造業	347,077	15,005	8,575	332,072	338,502
農業、林業	6,659	579	869	6,080	5,790
漁業	1,262	226	303	1,036	959
鉱業、採石業、砂利採取業	5,876	△ 590	△ 124	6,466	6,000
建設業	98,391	897	6,561	97,494	91,830
電気・ガス・熱供給・水道業	75,581	8,526	17,235	67,055	58,346
情報通信業	16,802	△ 4,127	△ 871	20,929	17,673
運輸業、郵便業	107,439	1,986	△ 9,998	105,453	117,437
卸売業、小売業	321,706	△ 3,377	3,461	325,083	318,245
金融業、保険業	280,527	△ 23,193	△ 16,462	303,720	296,989
不動産業、物品賃貸業	520,041	22,075	43,581	497,966	476,460
各種サービス業	214,752	△ 5,049	5,748	219,801	209,004
国・地方公共団体	489,203	△ 4,183	△ 12,459	493,386	501,662
その他	819,873	50,250	75,830	769,623	744,043
海外店分及び特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—	—
合計	3,305,197	59,027	122,251	3,246,170	3,182,946

(2) 業種別リスク管理債権

(百万円)

	2018年9月末	2018年 3月末比	2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	39,752	△ 3,284	△ 7,808	43,036	47,560
製造業	5,763	△ 2,191	△ 2,648	7,954	8,411
農業、林業	509	190	225	319	284
漁業	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	21	△ 4	△ 8	25	29
建設業	3,936	△ 343	△ 825	4,279	4,761
電気・ガス・熱供給・水道業	16	16	16	—	—
情報通信業	539	77	119	462	420
運輸業、郵便業	1,251	697	707	554	544
卸売業、小売業	9,912	102	△ 1,955	9,810	11,867
金融業、保険業	20	20	0	0	20
不動産業、物品賃貸業	2,797	△ 618	△ 87	3,415	2,884
各種サービス業	11,096	△ 1,543	△ 3,387	12,639	14,483
国・地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	3,888	315	36	3,573	3,852
海外店分及び特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—	—
合計	39,752	△ 3,284	△ 7,808	43,036	47,560

(3) 個人ローン残高

(百万円)

	2018年9月末	2018年 3月末比	2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
個人ローン残高	799,363	29,740	55,320	769,623	744,043
住宅ローン残高	743,080	27,145	50,994	715,935	692,086
その他ローン残高	56,283	2,595	4,327	53,688	51,956

(4) 中小企業等貸出

(百万円)

	2018年9月末	2018年 3月末比	2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
中小企業等貸出残高	2,037,762	78,569	154,508	1,959,193	1,883,254
中小企業等貸出比率	61.65%	1.30%	2.49%	60.35%	59.16%

IV 2018年度業績予想

1. 単体

(単位:億円)

	2019年3月期予想	2018年3月期実績	差異
コア業務純益	150	158	△ 8
経常利益	157	186	△ 29
当期純利益	101	134	△ 33

2. 連結

(単位:億円)

	2019年3月期予想	2018年3月期実績	差異
経常利益	177	206	△ 29
親会社株主に帰属する当期純利益	102	137	△ 35

※上記の業績予想の数値は、2018年10月1日に公表した第四北越フィナンシャルグループの通期連結業績予想(下記<参考>)において考慮していたFG全体のマイナスシナジー(統合費用・減損)等のうち、当行分を反映させたものとなっております。
 なお、第四北越フィナンシャルグループの業績予想に変更はありません。

<参考>第四北越フィナンシャルグループ通期連結業績予想

(単位:億円)

	2018年度予想
経常利益	160
親会社株主に帰属する当期純利益	560

V 第四北越フィナンシャルグループ 2行合算・連結業績予想
(第四銀行と北越銀行の2行単体計数の単純合算)

1. 損益状況【2行単体単純合算】

(百万円)

		2018年9月期		2017年9月期
			2017年9月期比	
業務粗利益	1	42,756	275	42,481
(コア業務粗利益)	2	(43,640)	(1,054)	(42,586)
資金利益	3	34,705	△ 1,057	35,762
役員取引等利益	4	7,183	989	6,194
その他業務利益	5	867	344	523
経費(除く臨時処理分)	6	31,328	△ 865	32,193
人件費	7	17,329	△ 296	17,625
物件費	8	12,119	△ 406	12,525
税金	9	1,878	△ 163	2,041
実質業務純益	10	11,426	1,138	10,288
(コア業務純益)	11	(12,310)	(1,917)	(10,393)
一般貸倒引当金繰入額	12	△ 246	△ 184	△ 62
業務純益	13	11,673	1,323	10,350
臨時損益	14	1,442	△ 2,583	4,025
不良債権処理額	15	1,504	394	1,110
貸倒引当金戻入益	16	—	△ 809	809
偶発損失引当金戻入益	17	55	7	48
償却債権取立益	18	683	△ 168	851
株式等関係損益	19	2,203	△ 717	2,920
その他臨時損益	20	4	△ 502	506
経常利益	21	13,116	△ 1,260	14,376
特別損益	22	△ 319	△ 275	△ 44
税引前中間純利益	23	12,795	△ 1,536	14,331
法人税、住民税及び事業税	24	2,406	△ 895	3,301
法人税等調整額	25	819	456	363
中間純利益	26	9,568	△ 1,096	10,664

2. 預金等、貸出金残高【2行単体単純合算】

① 末残

(百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
預金等(預金＋譲渡性預金)	7,414,361	2,037	161,335	7,412,324	7,253,026
新潟県内	7,230,201	△16,621	170,070	7,246,822	7,060,131
新潟県外	184,159	18,659	△8,734	165,500	192,893
貸出金	5,022,772	78,423	238,221	4,944,349	4,784,551
新潟県内	3,709,940	58,471	143,512	3,651,469	3,566,428
新潟県外	1,312,830	19,950	94,707	1,292,880	1,218,123

② 平残

(百万円)

	2018年9月期	2018年3月期比		2018年3月期	2017年9月期
		2018年3月期比	2017年9月期比		
預金等(預金＋譲渡性預金)	7,412,688	195,131	187,613	7,217,557	7,225,075
新潟県内	7,240,862	196,445	190,954	7,044,417	7,049,908
新潟県外	171,824	△1,314	△3,342	173,138	175,166
貸出金	4,930,748	192,488	279,948	4,738,260	4,650,800
新潟県内	3,634,761	102,064	153,034	3,532,697	3,481,727
新潟県外	1,295,986	90,425	126,913	1,205,561	1,169,073

3. 投資信託・公共債等預かり資産残高【2行単体単純合算】

(百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
投資信託	216,849	6,728	15,230	210,121	201,619
公共債	124,267	△6,598	△14,736	130,865	139,003
保険	541,884	21,912	17,177	519,972	524,707

4. 有価証券の評価損益【2行単体単純合算】

(百万円)

		2018年9月末				2018年3月末		
		評価損益	前期末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
	満期保有目的	1,905	△510	1,913	8	2,415	2,416	0
	子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—
	その他有価証券	90,548	△4,742	115,846	25,297	95,290	118,910	23,618
	株式	77,741	△436	79,522	1,780	78,177	79,491	1,313
	債券	13,265	△8,885	16,026	2,759	22,150	22,876	726
	その他	△459	4,578	20,295	20,754	△5,037	16,541	21,579
	うち外国債券	△4,823	12	1,864	6,688	△4,835	1,277	6,112
	合計	92,454	△5,251	117,759	25,305	97,705	121,326	23,619
	株式	77,741	△436	79,522	1,780	78,177	79,491	1,313
	債券	15,171	△9,394	17,939	2,767	24,565	25,293	727
	その他	△459	4,578	20,295	20,754	△5,037	16,541	21,579

5. 連結業績予想(第四北越フィナンシャルグループ)

(百万円)

	2018年度予想
経常利益	16,000
親会社株主に帰属する当期純利益	56,000

以上